

説明:

\* 上/下/左/右ボタンを押して希望するなオプション選択してOKボタンを押してください。

\* OSDがオンして、画面上に時間を表示する、オフと表示しない設定できます。

設定をリセット:

1. メニューボタン を押して、メニューに入ります

→ を選択して Okボタンを押してください。



2. はいを選択してOKボタンを押して、  
いいえを選択するとキャンセルします。



1. **i** を選択  
してOKボタンを押してください。



## アイコン説明

### 1. ステータスバーのアイコン

- : 信号接続なし
- : 信号強度
- : ライブビデオループ
- : 子守唄オン
- : 休みモードオン
- : 27°C: 温度計マーク
- : 電気量
- : 音声検出オン
- : 温度検出オン
- : フィード通知オン

### 2. 通知アイコン

- : カメラが接続されていません
- : 音声警報
- : 温度アラーム
- : フィード通知

説明:

ステータスバーに が表示されるまで、 ボタンを短く押してライブビデオループ機能を開くことができます。

ライブビデオループ機能がオンする場合、接続されているカメラは10秒たびに自動的に切り替わります。

音/温度アラームが鳴ると、カメラスイッチ機能は一時停止します。

## 困ったとき

Q1. 接続中にカメラはモニターと接続が失敗した。

- \* 電源プラグの接続を確認してください。
- \* カメラとモニターの距離を確認してください。

Q2. 画面がぼんやりしています。

- \* カメラがきれい或いは前に障害物がないことを確認してください。

Q3. 雑音が聞こえます。

- \* カメラとモニターの距離は近いかもしれない、少し離れてください。

Q4. 画面がオフ場合、赤ちゃんの音声が聞こえますか。

- \* 音声検出がオン場合、赤ちゃんの音声が聞こえます。警報音が鳴ると画面が点灯します。

Q5. 画面が白黒になっている。

- \* お子様のお部屋の明るさを確認してください。明るさが低すぎる(5ルーメン未満)場合、暗視モードがオンになります。

Q6. 画面が常に点灯されているとき、ご使用時間はどのぐらいでしょうか。

- \* 画面が常に点灯されている場合、約5時間使用することができます。また、画面の明るさによって使用時間は変化します。

**FCC Caution:**

This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Any Changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

**Note:** This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

The device has been evaluated to meet general RF exposure requirement. The device can be used in portable exposure condition without restriction.